

三菱商事が貢献する クリティカルミネラルの安定供給


本事業を推進する三菱商事(株) 金属資源グループCEOオフィス 経営計画ユニットマネージャーの鈴木雄飛氏にお話を伺いました。



エスコンディダ銅鉱山 (チリ)

2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、再生可能エネルギーや電気自動車（以下、EV）に欠かせない鉱物資源は多くあります。とりわけ経済的・産業的に重要で、供給リスクの高い鉱物資源は、クリティカルミネラル（重要鉱物）として、その安定的な確保が経済安全保障上も重要な課題となっています。

三菱商事は、クリティカルミネラルをはじめとする金属資源のトレーディング・資源投資・事業開発等を通じて、「社会が必要とする良質な金属資源を、持続可能な形で安定供給することで、より良い社会の実現に寄与する」使命を果たしています。

A portrait of Yuki Yuhui, a man in a dark suit and light blue shirt, sitting in a chair. He is smiling slightly and looking towards the camera. Behind him is a wall with a framed picture of a landscape with a river and buildings.

すずき ゆうひ●2006年三菱商事に入社。ステンレスの原料となるニッケルやクロムの販売事業の経験（含 南アフリカへの短期滞在）を経て、2011年より石炭の事業投資担当として豪州に赴任。その後発電用の石炭（一般炭）やウラン案件の売却案件に複数関与。2022年より銅の事業投資・新規事業開発チームを率い、2025年4月より現職。週末は小学生の息子と体を動かし、趣味はゴルフとウイスキー。

1. トレーディングから資源投資、コモディティの多様化へ

三菱商事の金属資源グループは、製鉄用の石炭（原料炭）・鉄鉱石の資源投資・開発・操業を担う「鉄鋼原料本部」、銅・アルミ・電池資源の投資・開発・操業を担う「クリティカルミネラル本部」、金属資源の販売やトレーディングを行う「金属資源トレーディング本部」の3つの営業本部から構成されています。資源投資に関しては、豪州にあるMDP (Mitsubishi Development Pty Ltd) とチリにあるMCI (M.C. Inversiones Limitada) が現地でそれぞれ投資のプラットフォームとして機能し、現地専門家も雇用しながら資源投資事業に従事しています。トレーディングに関しては、RtM (Resource to Market) を冠する日本・シンガポール・

インド・欧州・米州の事業投資先を中心としてトレーディング事業に従事しています。このように資源投資とトレーディングの両輪で事業を展開しています。

三菱商事の金属資源事業は、海外の資源サプライヤーと日本のお客さまとを繋ぐ伝統的な仲介事業からスタートしました。その後、自ら契約当事者となって在庫を保有する等のビジネスモデルに転換し、事業投資としてはBHPとのジョイントベンチャーBMA (BHP Mitsubishi Alliance) の前身であるCQCA (Central Queensland Coal Associates) への1968年の参画を皮切りに、1990年代に入ると銅、鉄鉱石などへのマイノリティ投資を実施。資源投資やジョイントベンチャー運営の知見を蓄積しながら、投資を通じて販売権を獲得し、得られた資源を日本のお客さ

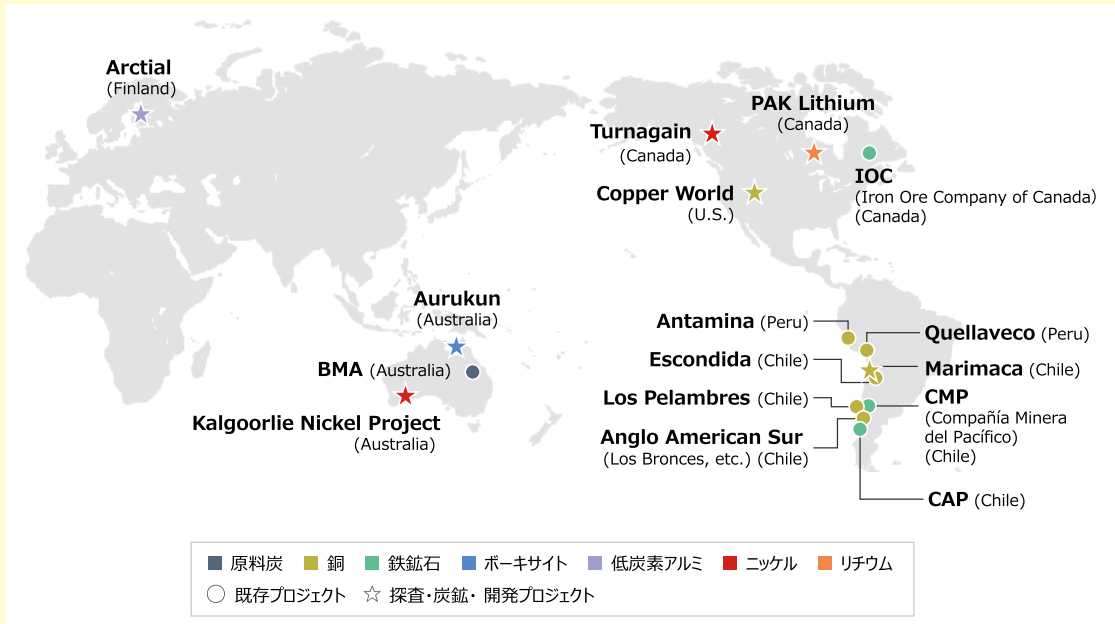


図 三菱商事が世界各国で展開する金属資源事業

まに届けることを目指してきました。エポックメイキングであったのは2001年のBMAの組成で、BHP Billiton（現BHP）と出資比率50：50でジョイントベンチャーを組み、事業経営に本格参入致しました。出向者を複数派遣することで資源事業や事業運営に関する知見をさらに深めると共に、世界最大規模の原料炭事業への取り組みを通じてその後の中国の成長を取り込むことができました。

その後、原料炭以外のコモディティへの多様化にも取り組むべく、2010年代に入り、チリのAAS (Anglo American Sur S.A.) やペルーのケジャベコといった銅鉱山への投資を実行しました。また、販売に関しては、成長するアジア市場の取り込みを狙って、販売子会社 RtM をシンガポールに設立してグローバルトレーディングを展開できる体制を構築し、今日に至っています。

2. グローバルに展開する金属資源事業

豪州のBMAは三菱商事が保有する資源関連資産として最大規模であり、高品質かつコスト競争力のある原料炭を産出する5つの操業炭鉱に加え、鉄道と港湾を一体運営しています。銅については、南米にある5つの操業案件と1つの開発案件に加えて、2025年には北米にあるカッパーワールド銅鉱山の開発案件を取得しました。鉄鉱石は、北米と南米に1案件ずつ保有しています。アルミニウムについては、豪州にボーキサイトの開発案件と、フィンランドに低炭素アルミニウムの製錬事業の開発案件を保有しています。電池資源であるリチウムは北米、ニッケルはカナダと豪州で開発案件をそれぞれ保有しています。投資比率は、BMAが最大の50%、ケジャベコが40%と続きます。いずれも、資源メジャーをはじめとしたオペレーターとパート

ナーシップを組んで、プロジェクトを運営しています。

トレーディングについては、シンガポールにRtMI (Mitsubishi Corporation RtM International Pte. Ltd.) を構え、米州・欧州・インド・日本といった各地域で、投資先からオフテイクする金属資源に加え、オフテイク以外の金属資源も幅広くトレーディングを行っております。中でも、銅精鉱・リチウム・アルミニウムについては、取扱量の観点から世界的なリーディングトレーダーとなっています。地政学リスクやエネルギー転換に伴い市場の不確実性が高まる中、お客さまの状況や需要の変遷、市場・産業構造の把握といったアンテナ機能がトレーディングを通じて得られることは、今後ますます重要になるポイントであると考えています。

3. クリティカルミネラルの安定供給に向けて

クリティカルミネラルを取り巻く外部環境としては、産業構造の転換、供給制約の深刻化、地政学リスクの常態化が挙げられます。産業構造の転換については、都市化や人口増加による基礎需要の増加に加えて、例えば銅やアルミについては電化の進展による需要が加わってきています。また、電池資源やレアメタル・レアアースに関しては、高機能材料としての需要が急増しています。一方で、供給については、開発期間の長期化や、開発に必要な資本支出の増加、埋蔵資源の品位劣化といった問題もあり、巨額の資金を保有する資源メジャーでさえも合従連衡の動きが出てきています。地政学リスクが構造的に織り込まれる等、不確実性がますます高く、変化の

スピードも速くなる環境の中で、最初から巨額な投資を行うのではなく、トレーディングを通じて商品や業界に関する理解を深めた上で、資源投資を実施するといったプロセスを踏んでいくことが重要であると考えています。

最後に、三菱商事が最近取り組んでいるクリティカルミネラル案件をいくつかご紹介します。

① リチウム

2024年に、カナダ・オンタリオ州のPAKリチウムプロジェクトへ約26億円を出資(7.5%株式保有)し、参画しています。鉱山だけではなく精製のプラントも含む開発案件であり、現在事業化に向けた調査を行っているところです。五大湖周辺にある自動車産業集積地域へのアクセスもメリットと考えています。EV普及は一定のスローダウンが見込まれているものの不可逆的であり、車載電池がLFP(リン酸鉄リチウムイオン)電池にシフトし、バッテリーストレージ需要も伸びていることを背景として、長年低迷してきたリチウム価格は回復してきています。本プロジェクトは、インフラ建設がポイントとなることから、現地政府からの補助金も活用しながら進めていきたいと思っています。

② 銅

2025年8月に米国・アリゾナ州のカッパーワールド銅鉱山への投資を決定しました。銅は、あらゆる資源会社が興味を示す商品となっており、獲得競争が非常に激しくなっています。これまでは年産量20万トン以上の大規模鉱山を資源メジャーと投資することが



カッパーワールド銅鉱山（米国）

多かったのですが、本案件は10万トン規模で、ハドベイ・ミネラルズという銅専門プレーヤーとパートナーシップを組んでいます。今後も需要増が見込まれるので、更に資産の積み増しをすべく、アルゼンチンやアフリカ等、これまでに取り組んでいない国の案件にもチャレンジしていく必要があると同時に、金属資源業界の再編にもアンテナを高くして、何らかの形で関与することも考えていきたいと思っています。

③ ガリウム

2025年12月にカザフスタンの政府系金

属資源会社アルミニウム・オブ・カザフスタン（AOK）が生産するガリウムを数年間にわたって輸入することを発表しました。ガリウムは、基本的に天然には存在せず、アルミニウムを生産する中間物アルミナを精製する際に副産物として産出されます。AOKはアルミナの精製設備を有しており、そこからガリウムを回収する形で、2026年7-9月頃の生産開始を目指しています。ガリウムの世界生産量は中国が9割超を占める中、パワー半導体での需要増加に対していかに安定供給を確保していくかが課題となっていたことが背景にあります。